

# 入鹿池

(いるかいけ)



全景



ツツジが咲き誇る池のほとり

## ため池の概要

### ため池の所在地

愛知県犬山市

### ため池の特徴

蘇我入鹿の領地であった入鹿村に尾張藩主徳川義直公により造られた農業用ため池で、日本第二の貯水量を持ち、築造以来380年の間、尾張平野東北部の広大な水田1,300haを潤し続けています。

1663年の築堤後、死者1000名を出した入鹿切れをはじめ、何度も豪雨や地震に見舞われましたが地域の努力により修復され、平成12年の東海豪雨では、調整池の役割を果たし下流の災害防止に貢献しました。

本宮山、尾張富士、白山の尾張三山が池を囲み、畔の博物館明治村と併せて多くの人々が訪れる観光地となっており、東海自然遊歩道入鹿池コースも設定されています。

地域の生態系ネットワーク内で重要な位置を占めており、カルガモ、コアジサシなどの多くの渡り鳥も飛来します。

また、地元小中学校によるゴミ拾いや、地域の人々による草刈り等が行われ、地域で愛されているため池です。

## 関連情報

水土里ネット愛知ホームページ  
東海自然歩道ホームページ  
美しい愛知づくり600選

<http://www.aichi-doren.or.jp/21souzou/irukatochi.htm>

<http://www.tokai-walk.jp/index.html>

<http://www.pref.aichi.jp/>